

商工連ながの

2013.11
VOL.355

商工会長会議開催

商工会中期マスタープランの推進

信州ビジネスサポートプラットフォーム設立

県女性連活動報告：こども経営塾

中小企業の新たな事業活動

商工会はいまーVol.93 栄村商工会

経営ワンポイントアドバイス

製品開発・技術開発による製造業の経営革新

法律ワンポイントアドバイス

企業トラブルとコンプライアンス

この人に注目ーVol.97 佐久市望月商工会

伝言板

ふるさと紹介 Vol.7 信濃町商工会

信州匠選、全国商工会会員福祉共済(案内)

長野県商工会連合会のホームページ・E-mail アドレス
<http://www.nagano-sci.or.jp/shokoren@nagano-sci.or.jp>

イルミネーションフェスタ★みのわ2013 「天竜川伝説～伊那谷の冬から春の風景～」

11月9日(土)～1月11日(土)

点灯時間：午後5時～午後10時

会場：箕輪町松島町道6号線「センターパークまつしま」

期間中、毎週金・土曜日にはLIVE演奏を、最終日には、空くじなしの大抽選会等を行います。来年は10周年の記念事業を予定しています。皆様のお越しをお待ちしています。
写真：龍神T-MO（ドラゴンティーム） 箕輪町商工会



商工会長会議開催

商工連は11月7日、諏訪市の「ホテルぬのはん」において商工会長会議を開催し、県商工労働部の太田部長並びに、今年度より就任された全国連の勝野専務理事（南木曾町出身）を講師にお招きし盛会に開催されました。

会議では、矢崎会長より「わが国経済は回復基調にあると言われるが、中小零細事業者が実感するところまでは来っていない。

こうした中、3月の臨時総会で議決された『商工会中期マスタープラン』の実行に取組み、複数の指導員等による組織的な支援、多面的な支援を行えるよう準備している。

また商工連では、県との連携により『事業引き継ぎセンター』の年度内設置を準備しており、県下の小規模事業者の支援について引き続き県との連携を強めて行



矢崎会長あいさつ



太田県商工労働部長講演



勝野全国連専務理事講演

きたいと考えている。また、来年4月からの消費税引き上げについては、専門部署を設けて、消費税転嫁対策事業に取組み、今後中小企業の皆様方が経営環境の変化に対応できるよう、支援事業に取組んでまいります」とあいさつがありました。

また、商工会運営、経営改善普及事業に貢献された方への表彰が行われました。又、中小・小規模企業支援の拡充強化、地域経済の活性化を進めるべく「中小・小規模企業と地域の成長実現のための地

方集会決議文」が採択されました。

続いて、全国連の勝野専務理事より「商工会の課題と今後の方向性」と題し、小規模企業基本法制定の必要性、商工会の直面する課題と対応策などについて講演いただきました。

また、太田県商工労働部長からは「商工会と地域振興」と題し、ご自身がこれまで体験された全国各地の地域振興策などについて講演いただきました。大変有意義な商工会長会議となりました。



関東経済産業局長表彰



長野県商工会長会議

商工会中期マスタープランの推進

商工会中期マスタープランの推進に際し、「商工会中期マスタープラン検証委員会」と、「商工会中期マスタープラン推進委員会」を7月25日に開催し、設置しました。(名簿参照)

商工連は、9月から10月にかけてステージⅡに係わる「概念」と「地域グループ編成」について各商工会の役員・職員の方の皆さんの意見集約を県下各地14箇所で行ないました。

商工会中期マスタープラン検証委員会委員名簿 (敬称略)

平成25年7月25日現在

役名	氏名	所属・役職
委員長	五味 光亮	商工連副会長、人事管理委員会委員長
副委員長	柏木 昭憲	商工連副会長、組織財政委員会委員長
委員	樋口 一清	信州大学名誉教授
委員	吉澤 猛	県 産業政策課長
委員	市川 武二	県市長会 事務局長
委員	中村 靖	県町村会 常務理事兼事務局長
委員	本多 英一	全国商工会連合会 組織運営部長
委員	羽毛田盛雄	商工連副会長、地域産業振興委員会委員長
委員	鈴木 秀典	商工連副会長、共済事業運営委員会委員長
委員	細野 邦俊	商工連 専務理事
委員	小島 薫	宮田村商工会 事務局長(推進委員会)
委員	佐藤 豊一	小海町商工会 事務局長(推進委員会)
委員	前島登志夫	高森町商工会 事務局長(推進委員会)
委員	樋口 信雄	南木曽商工会 事務局長(推進委員会)
委員	原 隆文	長野市商工会 事務局長(推進委員会)
委員	山崎 猛	商工連 商工会支援グループ チーフリーダー(推進委員会)

16人

商工会中期マスタープラン推進委員会委員名簿 (敬称略)

平成25年7月25日現在

役名	氏名	所属・役職
委員長	前島登志夫	高森町商工会 事務局長
副委員長	佐藤 豊一	小海町商工会 事務局長
副委員長	小島 薫	宮田村商工会 事務局長
副委員長	樋口 信雄	南木曽商工会 事務局長
副委員長	原 隆文	長野市商工会 事務局長
副委員長	山崎 猛	商工連 商工会支援グループ チーフリーダー
委員	宮島 安彦	軽井沢町商工会 経営指導員
委員	橋詰 克史	東御市商工会 経営指導員
委員	今井 毅	阿智村商工会 経営指導員
委員	武居 保男	辰野町商工会 経営指導員
委員	小林 礼	安曇野市商工会 経営指導員
委員	岡村 文雄	木曽町商工会 経営指導員
委員	濱田 廣雄	飯綱町商工会 経営指導員
委員	青木 隆典	坂城町商工会 経営指導員
委員	今井由起子	佐久穂町商工会 補助員
委員	浅岡 スエ	阿南町商工会 補助員
委員	塚原亜希子	麻績村商工会 補助員
委員	桐山 恵利	信州新町商工会 補助員

18人

信州ビジネスサポートプラットフォーム設立



長野県商工労働部経営支援課 内田課長あいさつ

①のコミュニケーション及び情報活用事業は、「ミラサポ」のホームページへ<https://www.mirasapo.jp/>から行うことが出来ます。これから経営に関わる情報を得たり、補助金の情報取得や補助金の電子申請が可能です。また、会員登録を行うと経営者同士のコミュニケーションに参加出来る、幅広く情報交換することが出来ます。

②の専門家派遣事業は、今回設立した「信州ビジネスサポートプラットフォーム」が支援します。専門家派遣を希望される場合は、経営指導員にご相談ください。

「信州ビジネスサポートプラットフォーム」が、長野県下全域を対象地域に、長野県商工会連合会が代表機関となって設立されました。

九月二日付けで関東経済産業局に、平成二十五年度中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業の推進母体となる「地域プラットフォーム」として登録されました。県内の商工会、商工会議所(一部を除く)、金融機関(商工業対象外の金融機関は除く)及び経営支援機関の100機関で構成されています。九月十八日、長野県中小企業会館において三十構成機関が集まり設立会議を開催しました。

プラットフォームで推進する小規模事業者ビジネス創造等支援事業は次の二つです。この二つの事業は、ITクラウドを活用した支援ポータルサイト「ミラサポ」により進められています。

①ITクラウドを活用したシステムによるコミュニケーション及び情報活用事業

②経営課題等の相談に応じる専門家派遣事業

未来の経営者を育てる事業「こども経営塾」を各地で開催

近年、中小・小規模企業は、起業者数や雇用者数が大幅に減少しており、若者による起業・創業の促進、人材の確保などが課題となっています。

そこで商工会女性部として、学校や地域と一体となり、より多くの子供たちに地域の産業や事業所を知ってもらい、関心をもってもらうため、県下4地区でこども経営塾を開催しました。

東信地区・小海町

7月23日（火）、小海小学校3年生32名が町内のパン店「高原のパンやさん」で、パンづくりを体験しました。子供たちは、安心・安全な商品を作るため清潔さを保つ工夫などを学びながら、女性部員が手助けして工場でのパンの製造を体験しました。



おいしく焼けるかな



品田さんのお話に熱心に耳を傾ける子供たち

また、小海町商工会長でもある経営者の品田宗久さんより、商工会が取り組む地域活性化事業や経営の苦労・喜びについてお話をさせていただきました。

品田さんは、小海高等学校の生徒等と協力して実施している事業を紹介し、「小海町のことをたくさん勉強して、大きくなったらこの町の役に立って」と呼びかけ、子供たちは熱心に耳を傾けていました。

続いて、同施設の飲食店、生活雑貨販売店、惣菜製造、福祉施設などに分れて仕事に取り組み、接客などを体験。子供たちは、お客様の「ありがとうございます」の言葉に笑顔を見せました。



お仕事体験を終え、充実感の溢れる笑顔

南信地区・宮田村

7月30日（火）、宮田小学校5・6年生16名が複合施設「オヒサマの森」でお仕事体験をし、施設を経営する（有）わが家 代表取締役 大石ひとみさんよりお話をお聞きしました。大石さんは「会社ってなんだろう、社長ってどんな人？」と題して起業の思いを語り、「なりたいたいもの、やりたいことをまず見つけること。願いつつ努力を惜しまないこと。自分を信じる」と経営や就業で大切なことを子供たちに話してくださいました。



ご自身が経営で大切にしていることをお話くださった大石さん

中信地区・山形村

8月7日（水）、山形村の小中学生14名が村内の「ミラ・フード館」でそば粉挽きなどを体験しながら、企業経営の魅力や働くことの大切さを学びました。



重労働だった石臼挽き

このこども経営塾は「そば屋に学ぶ！ やまっち学校」（やまっちは同村の公式キャラクター）と題して行われ、村内でそば店を営み、山形村商工会副会長でもある林和男さんに講師を務めていただきました。

子供たちは、石臼を使ったそば粉挽きなどを体験したほか、グループに分かれてそばやそば粉を使った新メニューなどを考案するワークショップを行い、様々なアイデアが飛び出しました。

林さんは、そば打ちには手打ちと機械打ちがあることを紹介し、「経営に正解はない。自分が経営者だったら、どんなかたちでお客さんに喜んでほしいか考えてみてほしい」と話し、子供たちは熱心に耳を傾けていました。



意見を出し合い、新しい商品を考える子供たち

北信地区・飯綱町

8月2日（金）、飯綱町内の小学6年生9名が村内の「サンクゼール」でお仕事を体験しました。

はじめに、（株）サンクゼール 代表取締役 久世良三さんが、創業時の苦労や事業拡大のきっかけなどについてお話をくださいました。



経営の苦労や喜びを話してくださった久世さん



職場の方の説明を熱心に聞く子供たち

また、お店での接客やソーセージの製造、ワインラベルの作成などの体験を行いました。子供たちは「お店の人に『作業が早く終わって助かった』と言ってもらえて嬉しかった。またやりたい」と話してくれました。

今回、協力をいただいた経営者の皆さんは、それぞれ年齢も業種も異なりますが、「子供たちに地域のことを知ってもらい、夢をもって頑張ってもらいたい」という思いは共通していました。

その思いは、参加してくれた子供たちの心に強く響いたことと思います。

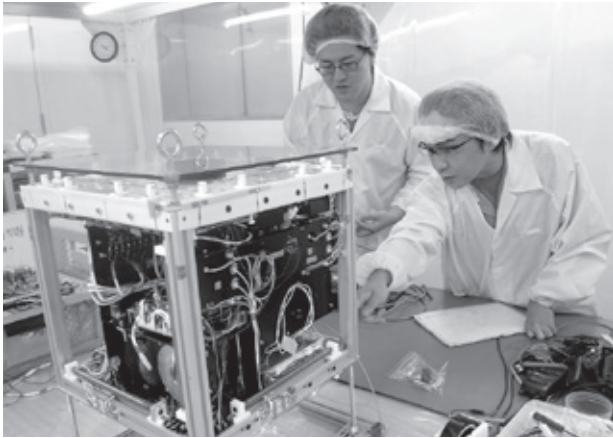
県女性連では、さらに地域を増やして、来年度も引き続きこども経営塾を開催していきます。

中小企業の新たな事業活動

「航空宇宙ビジネスへの 確かな一歩」

安曇野市商工会 麻績村商工会

株式会社ワカ製作所 松本工場（安曇野市明科）
麻績工場（東筑摩郡麻績村）
統括工場長 清水 毅彦 氏



「ぎんれい」の電源回りの配線を確認する
信州大学大学院生の福澤新さん(左)と社員の等々力修司さん(右)

半世紀以上の歴史の中で培ってきた「ものづくり」へのこだわりとノウハウを基礎に、高周波同軸事業、デジタルインターフェイス事業、リチウムイオンバッテリー事業、機械加工事業を柱に幅広くお客様のニーズにお応えする製品をご提供させて頂いております。麻績工場では同軸コネクタやケーブルを生産しています。卓越した技術を

株式会社ワカ製作所（本社東京）は昭和33年に、若林製作所として創業。昭和39年に東筑摩郡麻績村に麻績工場を建設。同年株式会社ワカ製作所を設立。昭和48年には東筑摩郡明科町（現在の安曇野市明科）に松本工場を建設。長野県内に生産拠点を置きピンジャックの生産販売を開始。昭和60年には携帯型カセットプレイヤー用モーターコイルの開発と生産を手がけました。



JAXA 認定証を手に
統括工場長 清水毅彦氏

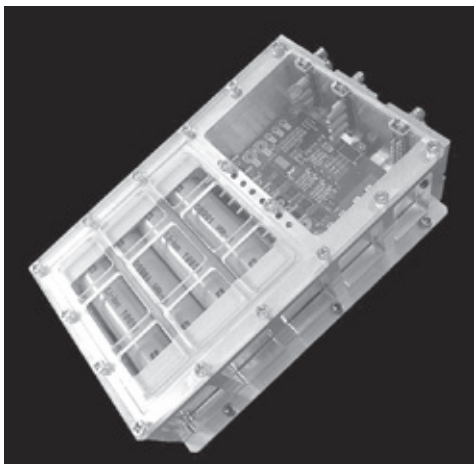
持った作業者によりひとつひとつの手作りで組み立てられる製品は、医療、航空・宇宙分野など高精度、高信頼性が必要とされる現場で使われており、110 GHz対応までのラインナップと優れた高周波特性により他社との差別化を実現しています。

また、今年の3月にはレセプタクルとアダプタで高周波同軸コネクタでは日本発となるJAXA（宇宙航空研究開発機構）認定を取得しました。過酷な条件下で行われるいろいろな試験をパスした製品は高い信頼性の証でもあります。11月にはケーブルプラグでの認定取得を予定しています。

松本工場ではリチウムイオンバッテリー事業、機械加工事業を中心にあら



JAXA認定を受けた高周波同軸コネクタ



「ぎんれい」搭載のリチウムイオン
バッテリーユニット（モックアップ）

ゆる加工機を設備。設計、試作、部品加工から組み立てまで一貫した生産体制を構築し市場のニーズに素早く対応します。

また、平成23年から信州衛星研究会に参加。信州大学と長野県内企業を中心に開発が進められている信州産人工衛星「ぎんれい」に当社の開発した小型軽量大容量のバッテリーユニットが搭載されます。「ぎんれい」は来年2月の打ち上げを予定しており、現在も過酷な環境下を想定し信頼性、耐久性を確保すべく研究が続けられています。

企業理念の「日本のものづくりの心を世界に伝え、安心安全で豊かな社会の実現に貢献する」の基に、確かな品質と信頼性で多くの方々のお役に立てる製品を世界に向けて送り出しています。

Shokokai NOW!

栄村商工会

北信

Vol.93

復旧から復興へ

平成23年3月12日震度6強に見舞われた栄村。村内事業所では事務所や店舗の損壊、地盤沈下、商品の破損など甚大な被害がありました。

その結果、建物の全壊等で廃業した事業所は7か所に及び、そのうちJR森宮野原駅前商店街では4店舗が全壊状態で廃業しました。駅、役場、高齢者総合福祉センター、診療所が立地する村の中心地ともいえる当地域では、生鮮食料品店の閉店で、高齢者を中心に大きな支障がでたため、中小企業基盤整備機構の「仮施設整備事業」により24年1月に軽量鉄骨2階建て、総床面積233㎡の仮設店舗がオープンしました。

また、国の「地域商業活性化を通じた

被災地支援事業補助金」を活用して、仮設店舗オープンに合わせた復興謝恩イベントを行い、建物撤去後の駅前商店街の空き地へ、絵手紙の大型パネルを4か所設置しました。

仮設店舗はもう1か所、仮設住宅隣接の集会所内にも設置され、村からの集会所運営受託事業として業者に再委託し、仮設住民の移転とともに昨年12月末をもってその使命を終えています。

この間、全国商店街振興組合連合会の助成による「商店街災害復旧事業（街路灯修復）」、全国商工会連合会による「移動販売支援事業（移動購買車無償貸出）」、



中小機構により設置された駅前仮設店舗



建物撤去後の空き地に設置された絵手紙パネル

村の助成による「消費活性化事業」「利子補給事業」など様々な場面で各方面よりご支援をいただきました。

今後の大きなテーマである「村づくり」に向けては、中小機構や全振連、全国連などのアドバイザー派遣制度を利用するなど、一筋の光明を求めてまさに暗中模索の日々が続いています。

ご支援ありがとうございます ございました

被災直後より県下商工会はじめ県内外の方々より多くのご支援を賜りました。財政支援、人的支援、販路開拓支援など様々なお心遣いをいただいたおかげで、

何とか会員も落ち着きを取り戻しています。

皆様から頂きました義援金につきましては、会員への見舞金や被災事業所修復費用助成など個々への支援や、女性部による「花いっぱい運動」や駅前地域の「まちなか絵手紙ギャラリー」「ふれ愛まつり」などの賑わい創出に使わせていただきましたが、今後は村の活性化という大局的なテーマに活用させていただこうと考えています。

復旧までは様々な方のお力添えに甘えながら過ごしてまいりましたが、今後の復興については自らの知恵と汗で具現化することこそが、ご支援をいただいた皆様の恩に報いることであろうと考えております。

どうか今後とも温かく見守っていただきたく思います。ありがとうございます。



駅前の各店舗の店頭飾られた絵手紙

製品開発・技術開発による

製造業の経営革新

「開発のネタ」の見つけ方



中小企業診断士

美斉津晃氏

アベノミクス効果もあり明るさが若干見えてきた日本経済ですが、地方の中小製造業にとってはまだまだ厳しい経営環境です。今後、ある程度の円安が定着しても、新興国との競争は激しさを増すことが予想されます。これまでの延長線上と同じやり方は限界にきており、今、求められるのは創造性を発揮することです。具体的には、独自の新製品・新技術の創出です。これには、二つの大きな意義があります。「価格競争から脱して利益率のアップが可能」、「顧客への技術提案による自社の存在感発揮」です。これらは売上・収益の向上につながり、経営革新が可能となります。

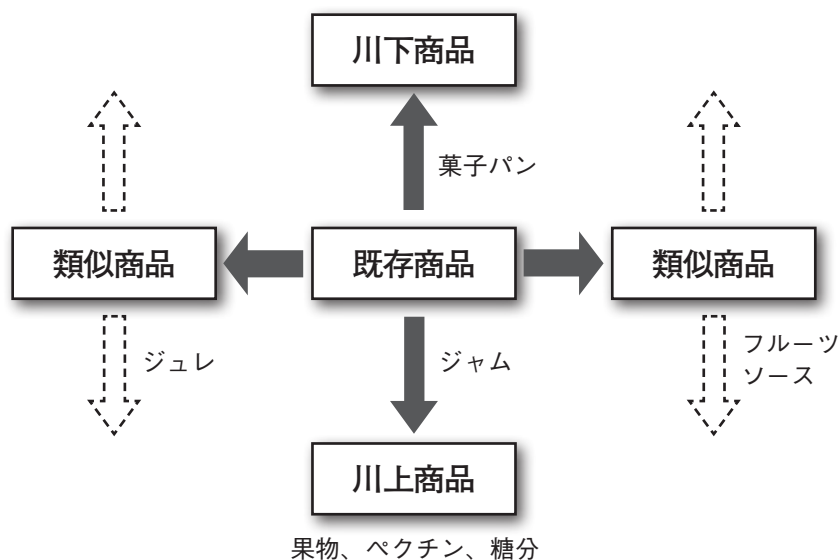
しかしながら、企業を廻ってみると、この新しい製品・技術を創出することは、たいへん至難の業のようです。ある会社では、社員に毎月ひとつアイデアを出させていました。また、ある会社では、良い提案に対し金一封の報奨制度がありました。しかし、なかなか良い提案は出てこないのが実状です。開発

のキツカケとなる「ネタ」（かなり優位性があるシーズ）がなかなか見つからないからだと思います。そのネタを見つける方法をいくつか紹介したいと思います。

(1) 自社製品を川上や川下、左右に展開してみる。

- ① 川下製品（自社製品が組み込まれる製品）、
- ② 川上製品（自社製品に使われる原材料）、③ 水平展開（自社製品の類似製品） ※右図参照（ジャムの場合の例）

※川下製品は、既存顧客と競合する事があるので注意。



(2) 大幅な低コストを実現する技術開発。

- ① 加工方法を全く変える（例…切削↓プレス）、
- ② 材質を全く換える（例…金属↓強化プラスチック）、③ 接合の仕方を変える（例…ネジ留め↓はめ込み式）

(3) 従来のユーザーや使用方法を変えてみる。

- ① 男性用⇄女性用（例…美肌化粧品）、② 食べる⇄飲む（例…ウイダーインゼリー）

(4) 顧客クレームからヒントを得る。

- ① 改良して新たな機能を加える、② 形状を変える、③ 材質を変える

次に、資源の乏しい中小企業が、開発を進行する上で留意すべき点を幾つか挙げます。

- (1) 外部資源を上手に活用すること（大学、公設試、専門家など）。特に、開発の補助金制度は検討の価値あり。今回のものづくり補助金でも、私の支援先で、設備更新ができたため、廃業を取り止め、会社を続けることにした会社があります。
- (2) 事前調査はキチンとやる（市場調査、特許調査及び販路調査の費用はケチらない）
- (3) 自社のシナジーが活かせること（例…既存販売ルートの活用、保有技術・設備の応用）
- (4) 共同開発の場合、契約内容をよく吟味する（開発製品は顧客以外に販売しない旨の契約を結んだために、顧客が少数しか買ってくれず困った企業の事例あり）
- (5) 際限なき投資を防ぐため、予め進退を評価する時期・会議体を決めておく。以上。

企業トラブルと コンプライアンス



弁護士 林 一樹氏

一 企業トラブルの原因

会社を経営していますと残念ながら様々な原因によって、トラブルに遭遇します。取引の相手方との契約問題や債権回収等の金銭関係等外在的なものから、労働問題等会社内部の内在的な原因に基づくものまで色々です。自社製品に何らかの欠陥があった場合や販売方法に問題があった場合は、自社内部の問題が消費者とのトラブルを招いたもので、内在的な問題が外部とのトラブルを招いたものでしょう。

最近では、カネボウ化粧品品の美白化粧品で肌がまだらに白くなる「白斑」の症状が相次いでいる問題が記憶に新しいところです。マスコミ報道によりますと同社は平成23年10月に初めて顧客から症状について指摘を受け、その後も、販売員や顧客、医師から同様の指摘が相次いだに

もかわらず、自主回収を決めた今年7月まで適切な対応を怠ったと指摘されています。この件については、消費者の1人が9月18日に東京地裁へ損害賠償請求訴訟を提起したとの報道もなされています。同社から調査の委託を受けた弁護士は、その原因について、同社の「事なかれ主義」が被害を拡大させたコメントしています。

このようなトラブルは、大企業だけの問題ではありません。中小企業でも、発生の可能性があります。消費者トラブルだけでなく、下請製造であれば、製品の製造ミスで取引先への信頼を失うだけでなく、莫大な損害賠償請求を受ける可能性もあるのです。

企業不祥事がマスコミを賑わす度にコンプライアンス重視ということが言われます。コンプライアンス重視ということは、かなり以前から叫ばれているにもかかわらず、企業不祥事が後を絶たないのは、コンプライアンスがわが国の企業風土に根付いていないことの現れかもしれません。

特に最近の不祥事で特徴的なことは、インターネットの発展により、情報があつという間に拡散してしまうという事です。企業にとって、負のイメージが瞬く間に広がり、致命的な信用失墜に繋がってしまうところが怖い点です。主に消費者の皆さんを相手に商売をしているような企業ですと、会社の存続に関わるような重大問題に至る可能性もあります。

二 トラブルの防止

では、このようなトラブルを防止するにはどうしたら良いでしょうか。コンプライアンス重視といくら口で叫んでも効果がありません。経営者の皆さん自身がコンプライアンス重視ということはどういうことなのかを具体的に理解し、実践することではないでしょうか。

コンプライアンスの背景には、企業の社会的責任、すなわち、企業は利益を追求するだけでなくその活動が社会に与える影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダー（利害関係者、消費者、投資家、社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をすること、という考え方があります。経営者の皆さんが普段の会社経営にあたり、このような観点を常に意識することによって、トラブルを防止できるようになります。コンプライアンスの重視は、会社に対する取引先や消費者からの信頼・信用を守ることによって、企業のブランドを守ります。そのことによって、会社の発展を来たし、従業員の雇用を守ります。また、違法・不正行為による被害者を出さないことによって、社会を守ることになります。

経営者の皆さんがこのような意識を持ち、仮にトラブルに遭遇した場合には、「事なかれ主義」ではなく被害の浅いうちに適切な対処をして頂くようお願い致します。

この人に注目

Vol.97



佐久市望月商工会 商業部会長
ふじた食堂
店主 藤田 秀信 氏

したそうです。

人・水・空気・自然に囲まれ健康を取り戻し、のびのびと子供時代を過ごし、のびのびと学生時代も過ごしました。学校卒業後、一旦故郷を離れましたが、その後信州に戻り、飲食業、販売業を職とし、やはり、のびのびと就業して参りました。：が、平成九年五月、先代である父の逝去を期に、二代目店主となりました。

望月地域での商売は大変です。人口十萬都市の佐久ですが、山間地域望月の人口は一万人程度、多くの同業者からは、暇だ、大変だ、営業は厳しいというお声をよく聞きました。

そんな折、地域ブランドを創ろうという異業種の会を開催しようとお誘いがあり、地域のブランド研究会に参加させていただきました。

農家・生産組合・直売所・調理師・製菓調理師・商工会、正に「異業種交流の会」が集まった会が発足した瞬間でした。この会が注目したのが、望月地域に古くから生産されていたという「雁喰い豆（がくくいめ）」という黒豆でした。

最初は、ごく少量生産のこの豆を黄粉

（きなこ）に加工し、団子に塗り（まぶし）、古文書に記載されていた中山道望月宿の名物「砂糖餅」の名をリバイバルして売りました。しかし、なかなか思うように売れず、鳴かず飛ばず状態でした。

この状況を脱却するきっかけを作ったのが、「この豆は味噌にならねえかい？」の一言でした。ここで大活躍したのが、

生産組合のおばちゃん達でした。県の研究所から味噌醸造の先生を招き、雁喰い味噌を完成させたのでした。ここからは、我々調理師の出番です。この味噌を使い、何かメニューが出来ないか？そこで上がったのが飲食店の定番「かつどん」でした。商品名は、駒の里望月に因んで「駒月みそかつどん」はどうか？ということになりました。

商品の作り方の規約を作成し、他店の商品広告もお互い請け負う・商品名は統一・地産地消を出来る限り心がける熱意と情熱、技術の研鑽に励む等、これに賛同して下さる中山道界隈の飲食店を1件1件回り、集まった10軒により、平成二十二年四月三日（土）展開開始を目指しました。

味噌が仕上がり、衛生検査を受け、各店のみそかつどんを持ち寄り、更にお披露目の会、商工会、佐久市行政の力をお借りし広報。

このお陰で二百名を超えるお客様・メディアが会場を埋め尽くし、華々しいデビューとなりました。

この「駒月みそかつどん」の取り組み

を通して連携の力の大きさを感じております。

発売初年度は、全店で二万食を販売することができました。また、原料の仕入れも望月地域の商店を可能な限り取引先としたことにより、地域還元させて頂くことが出来たと感じております。

現在は、佐久市内をはじめ、県内外から多くのご来訪を頂いております。

また、本年より、同じ雁喰い味噌を使用した望月のスイーツ（和菓子・蒸し菓子）を駒月みそかつどんパンフレットに記載し、各店・商工会館・市役所等で配布しております。

更に一昨年より、生産組合の醸造する黄色大豆を使用した「駒月田舎味噌」を毎年十一月より、望月地域の様々なお店で販売をさせて頂いております。

この田舎味噌も毎年春先には売切れてしまう商品に育ってまいりました。

地産地消・農商工連携は、即ち、地域や人の連携だなあと、あらためて感じます。現在は地域ブランド研究会の会長職を務めさせていただいて居りますが、常々感じておりますことは、思いをぶつけ合える仲間、情熱を語り合える仲間、先輩方、事務方の居る佐久市望月商工会は楽しい！

これからも学び、拝命した役職を務めつつ、家業に邁進して参りたいと思います。

ご拝読頂きありがとうございます。

農商連携とご当地ぐるめ 駒月みそかつ丼・食による 地域活性化をめざす

佐久市望月で、飲食店を営んでおります。ふじた食堂二代目店主の藤田秀信と申します。現在、佐久市望月商工会にて商業部会長を拝命し二年目を迎えました。活発な商工会活動を通して、良い刺激を与えていただきながら、日々勉強させていただいております。弊社が望月にて営業をさせていただきはじめたのは、昭和三十一年、東京オリンピックの年。それまでは、東京にて営業しておりましたが、私が気管支炎を患い、この事を機に両親が、ふるさと望月に店を移し営業を開始

平成26年1月から記帳・帳簿等の保存が必要になります！ (税務署からのお知らせ)

▶事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

※現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者は、白色申告の方のうち前々年あるいは前年分の事業所得等の金額が300万円を超える方です。

◎対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

※所得税の申告が必要ない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

◎記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、売上先・仕入先その他の相手方の名称、金額、日々の売上げ・仕入れ・経費の金額等を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

【記帳のポイント】

- 1 収入金額は「売上」と「雑収入等」に区分し、必要経費については「仕入」と「経費」に区分して記載します。
- 2 さらに、「経費」は、「給料賃金」、「外注工賃」、「貸倒金」、「地代家賃」、「利子割引料」及び「その他の経費」に区分して記載します。
- 3 「掛売上（又は掛仕入）」については、年末に「売掛金（又は買掛金）」の残高を記載する必要があります。

◎帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

記帳・帳簿等の保存制度の詳細は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録の保存について」をご覧ください。

(上記記事は、長野税務署の提供によるものです。)

消費税転嫁対策窓口相談等事業

消費税率は平成26年4月1日に8%となることが決定し、平成27年10月1日に10%となる予定です。

商工会では、消費税転嫁対策窓口相談等事業を実施しています。

これは、消費税の二段階にわたる引上げや制度変更の円滑な実施に向けて、講習会の開催や相談窓口の設置、パンフレット等による周知等を行うことにより、中小企業者、小規模事業者が円滑かつ適正に消費税を転嫁できる環境を整備することを目的に実施しています。

具体的には、制度変更並びに経営強化をテーマに事業者への講習会を、県下商工会で税理士等を講師として実施していますので、ご参加を御願いします。

また、消費税転嫁がスムーズにできるための経営基盤強化(経理・税務・

経営革新・新商品開発・雇用労務・販路開拓・IT活用等)を図るため、税理士や中小企業診断士等の専門家派遣による無料個別相談も行なっています。これは、商工会が窓口となりますので、利用については、商工会の経営指導員にご相談下さい。

消費税転嫁対策相談窓口

消費税の相談は
商工会へGo!

相談無料
秘密厳守



商工会は行きます 聞きます 提案します



ナウマンゾウの模型（野尻湖ナウマンゾウ博物館）

信濃町は、上信越高原国立公園の一部に位置し、雄大な北信五岳の山並みと高原に囲まれた湖である野尻湖や、黒姫山麓に広がる黒姫高原など四季折々の姿をみせる優れた自然環境の中にあります。霧下蕎麦（信濃町で採れる蕎麦の総称）や、とうもろこしをはじめ、キャベツ、大根、トマトなどの高原野菜は、この地域独特の生育時期に昼夜の温度差が激しくなる霧下気候による農産物です。他にも、大正時代から国際的なリゾート地であったことを思わせるブルーベリーやルバーブ、また豊かな自然の恵みとして、根曲り竹や山菜が自生し、野尻湖では、うなぎ、ワカサギなど、地元の住民や観光客に親しまれています。さらに、癒しの森、野尻湖ナウマンゾウ博物館、一茶旧宅、一茶記念館、黒姫童話館、450年続



Vol.7

信濃町商工会

ナウマンゾウの応援隊 による地域振興



野尻湖畔から黒姫山を望む

31年の将来推計人口は8、350人となっていることです。

これからも、人々がこの町に暮らし、生活をしていくには、自然環境を活かした産業構造の構築とともに、町人口・交流人口の増加や地産地消など、これまで以上に自分たちの住む町に自信をもてる地域の活性化に

つながる取り組みが重要です。

信濃町商工会では、平成24年度から農商工漁林業の連携により、信濃町の情報発信と町全体の活性化を創出する「ナウマンゾウの応援隊事業」を実施しています。

ナウマンゾウは、日本を代表する氷河時代のゾウで、およそ40万年前から生息していて、およそ2万年前に衰滅しました。野尻湖畔では、1962年3月から、発掘調査が行われています。



専門家だけでなく、全国各地から集まった小学生から大人まで、多くの方の参加や協力で行われ、冬の風物詩となっています。沢山の化石や石器が発見され、野尻湖ナウマンゾウ博物館に展示されています。

事業名の「ナウマンゾウ」には、「ナウ」は今、「マン」は人、「ゾウ」は増やす、応援する人・交流する人を増やす意味を込めています。

主に、野尻湖トライアスロン大会や一茶生誕250年夏まつりなどイベント会場での特産品販売事業や起業等人材育成事業（起業塾）・The野尻湖船コンを実施しています。

また、東京都板橋区の「ハッピーロード大山商店街」や千葉県流山市・石川県白山市でも特産品販売を行い、信濃町の情報を発信し、都市との交流を深めています。



長野県商工会連合会選定

信州匠選 選定品のご紹介

本会が行う信州匠選事業は、県内でとれる産物を使った商品の特産品として販売・消費することにより、地域活性化を推進することを目的として、長野県産の材料を30%以上使ったものだけを認定しています。

信州匠選URL: <http://www.nagano-sci.or.jp/takumisen/>

小平製麺株式会社

〒385-0052 佐久市原123
TEL0267-62-0225



■そば切り（本生そば）

信州産の玄そばの風味をそこなわないよう石うす挽きしたそば粉で打った、そば通にお推めできる本生【そば切り】です。

西軽井沢物産株式会社

〒389-0207 北佐久郡御代田町馬瀬口2090
TEL0267-32-2233 URL <http://www.ajikura.com/>



■ブルーベリーのシロップ漬

四季の味蔵軽井沢産ブルーベリーのシロップ漬です。添加物を一切使っていません。ヨーグルトやアイスのトッピングなどにピッタリです。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

商工会会員
10万人以上の方に
ご利用いただいています



「けが」の
補償



トータル
「がん」補償

「病気」の
補償*



シンプル「がん」補償がスタートしました!



お申込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。

